

天保七（1836）年。著者・松濤軒斎藤長秋他。出版者・須原屋茂兵衛。

（湯島天満宮の項の内に「湯島神社」をたてて）

〔土人〕以下次行の「行ふ」まで割注）

湯島神社 ゆしまのじんしゃ とじん とがくしまやうじん しやう ほんしや うしろ なた 土人戸隠明神と称す本社すなはちの後の方かたにあり則

地主ぢしゆ しんの神れいさいなり例祭まいさいは毎歳九月十日をこなに行ふ

風土記曰豊島郡湯島神社雄畧天皇御宇二年癸巳

八月自官所祭天手力雄命也云

註 国立国会図書館デジタルコレクションの「江戸

名所図会7巻」松濤軒斎藤長秋 著〔他〕（須原屋

伊八〔ほか〕, 天保 5-7 [1834-1836] (DOI

10.11501/2559053) の18コマ目に画像（永続的

識別子 [info:ndljp/pid/2559053](http://info.ndljp/pid/2559053)）